

令和6年度 文化財防災訓練等実施状況報告

都道府県名

栃木県

行 事 名 称	文化財防火デーに伴う有形文化財ホテル飯塚邸消防訓練
実施期間・日時	令和7年1月27日 10時30分から11時30分
実 施 場 所	ホテル飯塚邸（栃木県那須郡那珂川町馬頭 360 番地）
主 催 者	株式会社大田原ツーリズム、那珂川町、南那須地区広域行政事務組合消防本部

■実施内容

訓練の想定

国登録有形文化財兼宿泊施設である飯塚邸の敷地内にある建物4棟のうち1棟の内部から出火し、隣接する建物には宿泊者がいると想定。また、初期消火では消火できず、敷地内の他の建物へ延焼の恐れがあり、消防隊が直近の水利に消防車両を部署し、ホースを延長して放水することを想定。

訓練の内容

飯塚邸従業員による火災の発見、通報、消火器による初期消火、宿泊者の避難誘導及び消防隊による放水訓練を実施した。また、飯塚邸従業員による水消火器を使用した消火訓練を実施した。

参加者及び役割分担

株式会社大田原ツーリズム ホテル飯塚邸（8名）：119番通報、初期消火、避難誘導、消火器取扱い訓練
 那珂川町（ケーブルテレビ（2名）・企画財政課（2名））：広報及び報道
 下野新聞（1名）：広報及び報道
 那珂川消防署（5名）：全体総括、放水訓練、講評

特に工夫した点

敷地内に4棟の建物があるため、昨年と違う建物を出火場所と想定し、従業員の行動を確認した。また、外国人の宿泊者を想定し、英語で避難誘導の案内を実施した。

問題点・課題

敷地内には文化財である建築物が密集しており、それらを宿泊施設として利用している為、火災発生場所により避難経路や避難場所の選定には従業員の臨機応変な対応が求められる。また、市街地に位置しているため、周囲への延焼防止も含めた早期の消火体制の構築が必要であり、地域住民や消防団、警察署等の関係機関との連携も確認する必要がある。

その他

文化財防火デーに併せて継続した訓練を実施し、地域住民の文化財愛護、防火への意識高揚を図ることが重要と考える。

訓練風景



放水訓練



消防署長による講評